



伊藤 千春 議員 無会派

問 本市における空き家対策は

答 適正管理して引き続き継続

問 今年度実施した、空き家実態調査の目的は。

答 建設部長 施策推進の基礎資料にするため。

問 結果は。

答 令和6年度は市街化区域内162件、市街化調整区域内195件。令和2年度調査時より減少。

問 空き家減少の要因は。

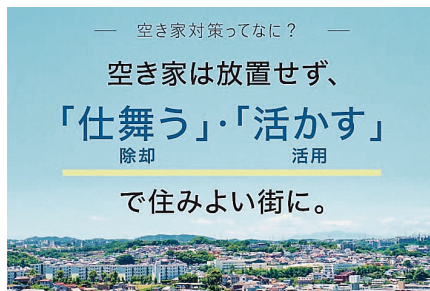
答 新たな土地利用等により減少。

問 空き家対策事業が、空き家減少につながったのか。

答 国や県、宅地建物取引業協会等と協力し、さまざまな空き家対策を実施していくことで減少につながると考える。

問 今後の取組は。

答 空き家の所有者を特定し、適切な管理に関するチラシ等を送付し、適正管理の意識向上につなげていく。



▲空き家対策事業

問 ファミリーシップ宣誓制度を

答 令和7年4月1日より導入

問 県内の現状は。

答 市民生活部長 令和7年1月1日時点、37市町村が導入。

問 県のファミリーシップ制度導入に対する考えは。

答 多くの人たちが幸せになれる制度と認識。

問 本市で制度導入の考えは。

答 令和7年4月1日に向け、導入を進める。

問 ※LGBTQ+、性的少数者への認識は。

答 誰もが尊重できる社会づくりが必要と認識。

問 他市との連携メリットは。

答 転出元への手続きが不要、転入先手続きの一部を省略できる。

問 制度導入でできることは。

答 住民票の続柄を「縁故者」として記載できること等。

問 あま市を参考とする考えは。

答 参考にしていく。

問 男女共同参画審議会の議題内容は。

答 男女共同参画プランの実現に向けた具体的な施策の一つとして「性的少数者についての理解促進」を行う。

問 今後のスケジュールは。

答 4月から行政サービスが提供できるよう制度の周知を図っていく。

問 取り組むべき方向性は。

答 多様な人権尊重社会の実現を目指す。

※セクシャルマイノリティ(性的少数者)を指す総称。



▲弥富市ファミリーシップ宣誓制度